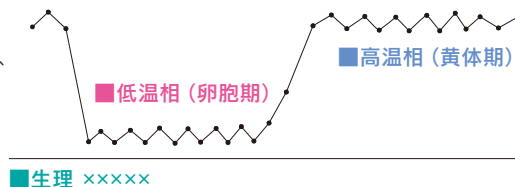


検査内容・費用

【基礎体温表】

基礎体温表はできる限り毎日記録し、
受診時に必ず持参してください。



基本的な検査

《 生理周期に合わせて行う検査 》

■ホルモン検査Ⅰ

卵巣および下垂体機能を評価します。生理周期の3日目前後に施行します。

》検査項目：LH・FSH・PRL・E2

》費用 ￥2,000(保険適用)

■子宮卵管造影

子宮腔内の形態、卵管の通過性、腹腔内の癒着の有無等を調べる検査です。

生理終了後早期に施行しますので、生理開始後はすぐに来院しご予約ください。

》費用 ￥5,000(保険適用)

■クラミジア検査

子宮や卵管・膣に細菌やクラミジア等の感染がある場合は、炎症を生じ不妊原因になることがあります。無症状であっても治療の対象となります。生理中以外なら検査可能です。

》費用 ￥1,000(保険適用)

■子宮ガン検診

子宮ガンの検査を行います。生理終了直後が最も適しています。

》費用 ￥1,000(保険適用)

■ホルモン検査Ⅱ

卵胞発育や排卵時期を調べます。

》検査項目：E2・PRG

》費用 ￥2,000(保険適用)

■超音波検査

経膣プローブにて、卵胞発育や子宮内膜の状態、卵巣のう腫、子宮筋腫などを調べます。

》費用 ￥1,600(保険適用または自費)

■ホルモン検査Ⅲ

高温相7日目頃に黄体機能を評価します。

》検査項目：PRG

》費用 ￥1,000(保険適用)

《 生理周期に関係ない検査 》

■甲状腺ホルモン検査

甲状腺疾患の有無を調べます。

》検査項目：TSH、FT3、FT4

》費用 ￥1,600(保険適用)

■感染症検査

B型肝炎、C型肝炎、HIV等の感染症検査です。1年に1度、ご主人と一緒に検査を受けていただく必要があります。

》費用 ￥5,000(自費)

※ご本人・ご主人共に

■精液検査

最新のコンピューター装置で精子濃度、運動率等を調べます。精子の性状は健康状態により変動するため、数回の検査が必要です。タイミングや人工授精の際には精子が少なくなってしまう可能性があるため、排卵の時期は避けて検査されることがのぞましいです。

》費用 ￥5,000(自費)

特殊な検査

■子宮鏡検査

子宮の中に直径3～5mmほどの細いカメラ(内視鏡)を入れ、子宮の内部を観察し、子宮筋腫や子宮内膜ポリープ、子宮奇形、子宮腔内の癒着の有無などを診断するために行います。

また、子宮卵管造影の際に狭窄や閉鎖が見られた方には、細い通水用カテーテルを卵管の入り口に挿入し、青色の水(色素液)を注入して卵管の通り具合(通過性)を判定します。

》費用 ￥2,500(保険適用)

※麻酔使用の場合￥10,000(保険適用)

■抗ミュラー管ホルモン(AMH)

AMHとは、卵巣に残された卵子の数の目安(卵巣予備能)を観察する検査です。AMHの値が高すぎる場合は「多嚢胞性卵巣症候群」の可能性がります。

》費用 ￥5,000(自費)

■子宮内膜炎検査

子宮内膜の細胞を少量採取し、慢性子宮内膜炎の有無や原因とされる菌を調べる検査です。

》費用 培養検査のみ ￥5,000(自費)

病理検査のみ ￥15,000(自費)

両検査セット ￥20,000(自費)

■子宮内膜着床能検査(ERA)

子宮内膜には着床に適した期間があり、それを「着床の窓(Implantation Window)」と呼びます。この期間は患者さま個人によって異なるため、おひとりお一人の「着床の窓」を特定する検査が重要になります。体外受精において、原因不明の反復着床不全の方におすすめしています。

》費用 ￥120,000(自費)

■不育症検査

習慣性流産とは流産を3回以上繰り返すことをいいます。流産の原因の多くは胎児側の染色体異常といわれていますが、それ以外の原因を探る検査です。

・不育症検査採血

[検査項目]

抗核抗体精密測定(蛍光抗体法)・APTT・ループスアンチコアグラント(LAC)・抗カルジオリピンβ2グリコプロテイン複合体抗体・プロテインC活性・プロテインS抗原・第XII凝固因子・抗PEIgG抗体

》費用 ￥16,000(自費)

・染色体検査

》費用 ￥9,100(保険適用)

※ご本人・ご主人共に

保険診療と自費診療の混合診療はできません。費用はおおよその目安とお考えください。加えて初診料、または再診料が必要です。

内視鏡手術

■子宮鏡手術

超音波検査や子宮鏡検査にて子宮内ポリープや粘膜下筋腫が見つかった場合、着床の妨げになる場合があるので子宮鏡手術にて切除します。基本的に日帰りで行える手術です。

》費用 ￥20,000～100,000(保険適用)

■腹腔鏡手術

超音波検査やMRIにて子宮内膜症(卵巣チョコレート嚢腫等)や子宮筋腫、腹腔内の癒着や卵管嚢腫(水)腫が見つかった場合、手術の適応になる場合があります。

開腹手術と比べるとからだへの負担も少なく、入院期間は5～6日となります。退院後もすぐに日常生活に戻ることが可能です。

》費用 ￥200,000(保険適用)